



≡ やっぱりいまの憲法がいいね！ ≡

## 米朝交渉

### 決裂を煽らず 冷静に解決を 軍事に頼らず

ベトナムのハノイで行われた米朝トップ交渉は決裂した。第一日目

(2月27日)の会談を終えた時点では何か妥協点に到達できるかもしれない予想もあつたが2日目はあつたが2日目はあつたが2日目はあつた

今後も含めて150機約1兆2000億円、イーリス・アショア2基約2500億円、オスプレイ17機1700億円などを買い入れる約束をしている。これらの兵器の必要性は危機的な状況に置かれているとの判断から生まれる。

その後、様々な論評が出ているがどれが正しい分析なのか良くわからな

現在では中国の軍事力の増大と北朝鮮の核だと言われている。その脅威から防衛するために必要だ

脅威を煽り、軍事力で解決を図ろうとしたりする危険性は過去の経験から学ばなければならぬ。特に中期防の費用の増大などは大きな緊張を生み出す。それが私たちの決して望んでいない結末にならないよう努力しなければならぬ。

たつている。それぞれ

必要なのは挑発に乗らないこと。脅威の身を冷静に受け止めることが必要である。

私たちの平和への願いは軍事力に頼らないことが全てである。危機はあるが、しかし解決は可能である。そのための私たちの力を結集することが必要である。

現在の状況の中でランプのアメリカがこれまでやって来た国外での活動のなかで大きな部分を占めているものが、兵器の売り込みであることは確かである。日本でも中期防衛力整備計画(中期防)で戦闘機を

あつたり、ことさら

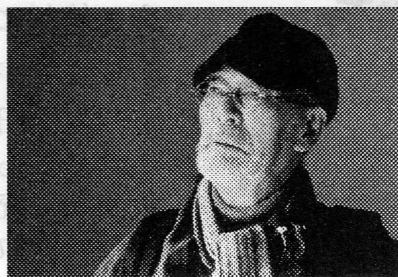
あつたり、ことさら

## 平和のつどい・のだ 2019 プレイベント

主催：平和のための戦争展・のだ 2019 実行委員会

# 5月5日(日)

- I 中村敦夫朗読劇
- II ピースパレード



### 中村敦夫 朗読劇 線量計が鳴る

- 樺のホール / 小ホール
- 開場:12:30 開演:13:00

大人:2,000円(18歳以下は無料。)事前チケットは実行委員会事務局で。(当日券は僅少をご容赦ください。)

原発事故で凡てを失った老人の独白をあの木枯らし紋次郎の中村敦夫さんが圧倒的迫力で語る。

全国100カ所公演を目指す。市外からも続々問い合わせが来ています。チケットはぜひ前売りでお求めください。

開演 13:00

中村敦夫朗読劇

終演 15:00

15:30 スタート

ピースパレード

平和をアピールしましょう。参加自由です！  
お好きなグッズをもって楽しくパレードしましょう！

# PEACE

戦争はいやだ！ 何もなくてもOK!  
九条は変えさせない

15:30 スタート  
樺のホール前

パレード

16:30 着  
文化会館 駐車場

# PARADE

文化会館 16:30

実行委員会事務局：☎04-7129-4297(田口)

### 今月の予定です

皆さん 気軽に参加ください

4月9日(火) 17:00~18:00

9日 行動 九条通信配布  
川間駅 北口 野田・九条の会

4月13日(土) 13:30~16:30

野田・九条の会 討論  
4月例会 「辺野古埋め立てと日米安保条約を考える」  
樺のホール 第1集会室 野田・九条の会

4月14日(日) 13:30~16:30

DVD 視聴と意見交換  
NHK こころの時代「反骨・中村敦夫の福島」  
南部梅郷公民館 南地域九条の会

4月19日(金) 15:00~16:00

9日 行動 九条通信配布  
雨天の場合は運河駅で  
運河ふれあい橋 理科大側 野田・九条の会

4月25日(木) 13:30~15:30

ちょっと硬派な おしゃべりカフェ  
政治や憲法のこと気軽に おしゃべりしませんか  
北コミ 談話室 野田・九条の会

4月29日(月・祝) 15:00~16:00

9日 行動 お花見の人に呼びかけ 九条通信配布  
清水公園貝塚前 野田・九条の会

### ○ 新基地建設 圧倒的多数が反対

2月24日に実施された沖縄県民投票で、投票者の7割を超える圧倒的多数が、辺野古の海を埋め立てて米軍基地を建設することに反対の意思を示しました。今もなお辺野古の海への土砂投入を強行し続ける日米両政府に突き付けた沖縄県民の明確な民意です。そして、この民意が本土の私たちにも発せられたのだということに、どれほどの人が気づいているのでしょうか。

### ○ なぜ沖縄に米軍基地が集中しているか

沖縄は太平洋戦争末期に本土の捨て石とされ、激しい地上戦のなか、四人に一人が命を奪われました。本土の主権回復後もアメリカの施政権下に留められ、基地の島とされていきました。本土では'60年の安保改定までに反米・反基地闘争で米軍基地が4分の1に減少しましたが、沖縄では逆に本土からの海兵隊移駐や軍用地の強制接収などで倍に膨れ上がります。こうして本土では基地から生じる日々の問題と切り離して平和と安全を語る事が可能となった一方、基地は沖縄に集中し、沖縄の人々はますます基地問題に絡み取られていったのです。

普天間飛行場の危険性除去という切迫した問題についても、基地問題は専ら沖縄の問題であり続けています。辺野古への県内移設を唯一の解決策とする政府のまやかしが示すように、本土への基地受け入れは不可能と判断され、その拒絶の意思が暗黙裡に

認められているのに対し、沖縄の人々だけは繰り返した態度表明することを迫られているのです。

### ○ 基地問題は「沖縄問題」ではなく「日本問題」

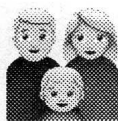
沖縄では95年に起きた米兵による少女暴行事件後、米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の見直しの賛否を問う県民投票が実施されました。当時、故大田昌秀沖縄県知事は「こんなことを県民にやらせるのが腹立たしい。国全体の問題。本来は、国民投票で問うべきだ」と述べています。氏の怒りは、日本政府の無理解に留まらず、本土の人間の傍観的態度にも向けられています。今回投票で明確に示された沖縄県の民意もまた、辺野古新基地建設を進める日米両政府への反対であると同時に、本土の私たちのうちに「基地は必要だがウチに来ないで」という意識を感じての苛立ちではないのでしょうか。

### ○ 国民全体で議論を！ 玉城知事が呼びかけ

安倍政権は建設を進める方針を変えず、新たな区域への土砂投入を始めています。沖縄の基地負担をなくすためには、日米安保条約＝軍事同盟の是非や問い直しを含めての議論が必要なのではないでしょうか。沖縄県の怒りを受けとめ、その負担やリスクにきちんと向き合って議論を進めましょう。ボールは私たち一人一人に投げられているのですから。

ご案内

4月例会で**辺野古の埋め立てと安保条約**を考えます。  
1面の「今月の予定です」を見てぜひご参加ください。



## ”子どもを守る政策を 最優先にしてください”

この野田で大変痛ましい事件が起きてしまいましたね。残念でなりません。わが子というものは自分の命そのものです。体罰やイジメを受ければ自分が受けるより心が痛むものです。

僅かな経験ですが、学童保育の仕事をして頂きました。どの子も皆可愛い。子どもは愛情を持って接すれば必ず応えてくれます。関わった全ての子の幸せを願わずにはいませんでした。

勿論人間ですからたまにはカッとなり感情的に怒ってしまうこともあります。しかしわが子でありながら長期に渡り虐待し、死に至らしめるなどありえません。心に病を抱えているとしか思えません。病は身体の病と同じ

治療をしてあげなければ、完治するまで絶対に会わせるべきではなかったと私は思います。



しかし日本には民間資格としての臨床心理士はあるものの国家資格とはなっておらず数も少なく充実していません。カウンセリングを受けられる機関もありません。欧米諸国に比べ遅れていると言わざるを得ません。

安倍総理！ 憲法改正よりも自衛隊の位置づけよりも大切なことがあるのではありませんか。今困っている子どもたちがいます。助けを必要としている子ども達があります。これからの日本を支える子どもたちです。どうか少しでも早く助けてあげてください。

軍事費に多額の税金は必要ない。私たちひとりひとりが最低限の権利を行使できる様に法の整備をお願いします。

小原八枝子